



# 歌浦っ子・ベゴニア通信



## フラッセル日本人学校で体験する日本文化

文責 フラッセル日本人学校補習校  
校長 佐藤 博

フラッセル日本人学校は、遠く日本から離れてはいますが、様々な日本文化が体験できます。前回の通信では、補習校の餅つきやお正月デーを紹介しましたが、同じ校舎を使っている全日制の方は、もっとたくさんの日本文化を体験しています。

右の写真、本校のロビーにPTAの方々が飾ってくださったひな人形、すごいでしょ？今では日本でもなかなか見ることがなくなったのではないのでしょうか。補習校がある土曜日はたくさんのベルギーやフランスの方が子どもと一緒に学校に来られるのですが、驚きながら一緒に写真を撮っていました。私も男兄弟で育ち、子どもも男の子ばかりなので、家でこのような立派なひな人形を飾るなんて経験がなく、つい見とれてしまいました。

また、2月の節分の時期には、全日は「節分集会」を行い、昼休みには体育館に集まって豆まきをしていました。ちなみにこちらベルギーでは、節分の習慣もないし、豆まきをすることもありません。さらにみんなが食べているような「恵方巻(太巻き)」はなかなか手に入らず、こちらで食べることもめったにありません。ちなみに太巻きや寿司などは、日本食材店などで売ってはいるのですが、日本の3倍以上する値段のため、なかなか買って食べようとは思いません。豆まき用の大豆等は結構手に入りやすいので、日本人学校ではそれらを使って豆まきをしたようです。

ちなみにこの玄関ホールでは、5月は鯉のぼり、7月は七夕と、日本文化を体験できるように時期に合わせていろいろなものが飾られます。日本から遠く離れているからこそ、日本文化を味わいたいという思いはもしかしたら強いのかもかもしれませんね。



## 「ラーメン文化」ベルギーに進出中！

歌浦小のホームページ、特に泉校長先生が紹介している「ランチタイム」を見ては日本の給食を懐かしんでいる私です。というのも、ここベルギーでは給食などありません。最初の方はお弁当をつくっていくこともあったのですが、最近ではそれもほとんどなくなりました。学校のすぐ近くに日本食材店があり、そこで「焼き鳥丼」や「親子丼」などが売っているのでそれを買うか、近くのサンドイッチ屋(とはいえ、こっちでサンドイッチというとフランスパンの中に肉や野菜を入れたものを指して、日本のように食パンから作るものではないのですが・・・)でサンドイッチを買うか、というのが昼の定番になってしまいました。

そんな中で最近ハマっているのが「カップヌードル」、実は家の近くの大きいスーパーで日清のカップヌードルがあるのを見つけて大喜び！大好きなとんこつ味はなかったものの、「ダッグ」「スパイシー」「カレー」と味も豊富、そして何よりも日本食にしては2€(1€は140円なので280円くらい)もしない安さ！(とはいえカップラーメン1個280円って日本だと高いよね)これがおいしくて、日本で食べるものと味もほぼ変わらないのですが、たった一つだけ大きな違いが・・・それは「麺が短い」こと。おそらくこちらでは、音を立ててご飯を食べるというのはマナー違反とされているので、たとえラーメンでもすすするように食べることはせず、音が出ないように静かに食べる習慣がついているのでしょう。つい先日、ゲントという町にある「すすするラーメン」というのが美味しいという噂を聞き、行列を並んでまで食べに行きましたが、満員のお客さんの中でだれも音を立ててラーメンをすすっている人はいませんでした。「すすするラーメン」という店名なのに・・・味は美味しくて、スープの最後の1滴まで飲み干したのですが、ただ値段が・・・ラーメン1杯約20€、日本円で2800円くらいしました。まあ自分へのご褒美くらいの時は食べられますが、この値段だとなかなかしょっちゅう食べることはできません。日本では気軽に食べられるのがラーメンの良さでもありますが、ここベルギーでは気合を入れないと食べることができないのが「ラーメン」なのです。



「すすするラーメン」のゆず塩味ラーメン



日本のカップラーメン売場、日清強し！



日清のカレー味、とてもおいしいですよ



麺は長くても10cmくらいしかありません